

FRUIT FULL TREE



豊かな樹 ・ 豊寿園

平成23年度の始まり



今年6月で開園14年目を迎えます。

昨年度は居宅支援の強化と新規在宅サービスをスタートさせたことから、豊寿園における在宅から入所までの支援体制が整いました。

全職員が一体となり、より一層サービスの向上に努めると共に、赤十字施設としての役割を果たすべく地域の皆さんとの交流に力を注ぎ、地域福祉向上の一翼を担えるよう取り組んでまいりますので、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いします。

開設から一年

昨年6月にヘルパーステーションアプレを開設してようやく1年を迎えようとしています。おかげ様でご利用者様も着実に増えてまいりました。1月には初めて北九州市の実地検査を受けました。実地検査とは、介護保険上のサービスを提供している事業所全てに対し定期的に行われる内部検査のことです。

新たな事業展開であるため、どのような指摘を受けるかと心配していましたが、検査結果は好評でした。

「訪問介護員(ヘルパー)の質の高さが伺えます」、

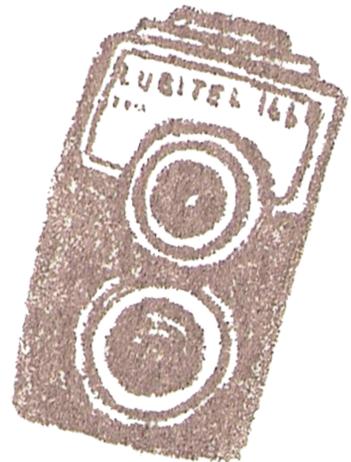
「今まで検査を行った事業所で一番良くできていました」、

「こちら(市職員)が参考になる事が多かったです」

などと大変ありがたい評価と、

「今までに無い新しい発想で取り組んでおり、ぜひ成功させて欲しいです。」との激励も頂きました。

今後もさらなる介護の質の向上に取り組むことはもちろんのこと、自信を持って提供できる豊寿園の訪問介護サービスをより多くの方に感じていただきたいと思います。



トピックス T O P I X

豊寿園家族会も情報を発信しています！



3月25日に園内にて豊寿園家族会主催の勉強会が開催されました。当日は北九州市認知症介護指導者でもある奥水介護係長が“認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式”について講義を行い、その後日頃ご利用者様に提供している昼食を参加者の皆さんに試食していただきました。

当日は家族会員だけでなく、豊寿園の居宅系サービスを利用されている方のご家族も参加され、あわせて、26名ほどの参加でした。試食しながら皆さんそれぞれの立場から、認知症の方と向き合った体験を語り合われ、和やかな雰囲気ですべての事ができました。

更なる高みを目指して 事業内容の評価を行いました！

3月29日豊寿園の外部第三者委員である花田健吾氏（豊寿園初代園長）、八坂和子氏（ボランティア団体会長）をお招きして、事業内容の自己評価を行いました。

22年度の各事業の取り組みについては、外部委員からも良い評価をいただきましたが、他施設での実習を行ってはどうか、サービス業である以上職員の資質向上の取り組み、地域へのPR活動の取り組みなど多くの助言もいただきました。

今年度もさらなるサービス向上を目指したいと思えます。



3月22日献血ルームおっしょい博多OPEN！



3月22日オープンJR博多駅内に新たな献血ルームがオープンしました。「おっしょい」とは、博多を代表する祭り「博多祇園山笠」の勇壮な掛け声にちなんだものです。

“おもてなし”の場をテーマにデザインされた明るく開放的な空間、九州最大規模のスペースで皆様をお出迎えます。

JR博多駅に隣接しておりますので、眼下に発着する新幹線を見ることがもできます。



年賀式にお神酒をいただきました

厳しい冬からうららかな春へと



獅子舞の演舞で一年の健康を祈念しました



エントランスにてパン屋さんがOPEN。

季節の移ろいを感じながら



ひな飾りを眺め、季節を感じました。

一月から三月にかけて、新年の始まりと春の訪れを園内行事を通して感じていただきました。

一月の年賀式、獅子舞鑑賞会、二月の節分では今年一年の健康を祈りました。特に祝金獅子曾のお二人による獅子舞の圧倒的な演舞には皆さん釘付け！熱心に魅入られています。

一月から三月とまだまだ寒さを強く感じる季節には、園内で買い物や喫茶を行い、美味しいパンやスイーツを楽しんでいただきました。

女性だけでなく男性も甘い物には目がない方が多く、抱えきれないほどの商品を抱えレジへと向かわれていました。

屋内にいとなくなか感じにくい季節の移ろいを非日常の空間の中で感じていただく。園内行事の大切な目的だと思います。

HOJUJEN × Family あなたと向き合った日々

先日実施いたしました読者アンケートでは“特に興味のある記事”一位をいただきました。今年度も介護をとおしてご本人様と向き合われた日々を多くの方と共有できるコーナーにしていきたいと思います。

「事業所を探し回る日々でした。」

今回、荒木介護長のインタビューに応じてくださったのは、松崎さんです。定期的に面会にこられてはお母様と楽しそうにおしゃべりをされています。今の状態に行き着くまではどのようなご苦労があったのでしょうか。

「本人は父親が亡くなった後から一人暮らしでした。私は母の近くに住んでいましたが体調が優れず、母の身の回りの事を十分にしていあげられないので、ヘルパーをしていた親戚に頼み、買い物や安否確認をしてもらっていました。」

—お母様の異変に気がついたのはどんなときだったのでしょうか？—

「目が離せない状態になったんだと思いました。」

「だんだんと物忘れが激しくなり、品物の名前が言えないなどの症状が出てきました。けれど、ヘルパーに入っていた親戚は変わらないというんです。

でもある日、たけのこを油で揚げている母を見て確信を持ちました。目が離せない状態になったんだと思いました。」

「自宅での介護が始まりましたが、私自身は十分に世話が出来ないし、自分自身も入院しなければならなくなったので、母親を預かってくれる施設を探して周りました。介護が必要な人をどこで、誰に、どうお願いすれば良いのかがわかりませんでした。母親を預かってくれる事業所を探し回る日々が続きました。その頃はますます目が離せなくなっていた母を抱えながら不安な毎日を過ごしていました。」

—介護保険の利用方法はまだまだ浸透していない面もあるということでしょうか。行政や事業者がもっともっと身近に感じていただける工夫が必要なのかもしれません。—

「誰かが付き添わないといけない。これが大変でした。」

「病院の方から豊寿園さんを紹介され、申し込みをして入所することができました。とにかく、在宅での認知症の人の介護は誰かが付き添わなければいけない。これが大変でした。今は、本人も安心して生活しているようだし、私自身の生活も安定できています。」

新門司保育所交流会



きつと クロス! 計画

一月から三月の間にも、様々な形で地域の方々との交流を持ちました。特に、松ヶ江北市民センターでの講座は今年度最後でしたが、盛況のうちに終える事ができました。

また、新門司保育所や松ヶ江北小学校との二二年度最後の交流会も行われました。

今年も小学校や中学校へと巣立って行く子供さん達をご利用者様たちは最高の笑顔で見送られました。

人と人が繋がる場所、地域の中のそんな場所でありたい・・・

藤松校区認知症サポーター養成講座



門司区婦人会研修



一緒に体操やレクリエーションをして交流しました

第5回松ヶ江北小学校交流会



第4回松ヶ江北市民センターいきいき健康講座



栄養一口メモ

「高血圧」あなたは
 大丈夫ですか？

高血圧は日本人4人に1人は罹っているというとても身近な病気です。今年度はそんな高血圧を防ぐ食事Ⅱ「減塩食」というテーマを基に4回シリーズでお送りしたいと思います。

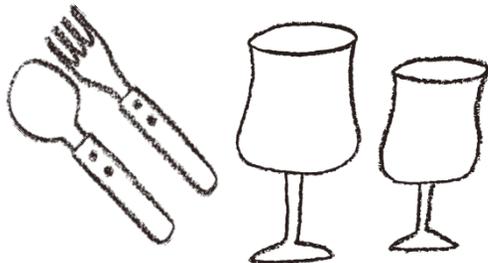
生まれつき高血圧になりやすい人（遺伝要因）が肥満、アルコール、運動不足、喫煙、ストレスなどの悪い生活習慣を続けることにより発症します。

遺伝もありますが生活習慣をよくすれば防げる病気でもあります。日本人は普通の食事を食べていても1日に約12〜13gの塩分をとっています。日本人に勧められているのは1日10g未満、高血圧患者では6g未満です。つまり高血圧の人は半分近く減らさなければならぬことになりましたね。塩分10gは小さじ山盛り1杯にあたります。

また、調味料、そして食品や加工食品にも以外と塩分が多く含まれています。皆さん日々の食事を見直し見ませんか？

意外と知らない加工食品中の塩分量

加工食品	塩分量
焼ちくわ	約2.4g
梅干し	約2g
即席ラーメン	約7.7g
たらこ一腹分	約3.7g



介護一口メモ



119番！いつでもいつでも準備えていますか？

家庭で救急車を呼ぶということは減多にないことと思いますが、いざ、そういう場面に遭遇した場合は冷静で迅速な対応が求められます。

事前に準備しておく事として、受診時に必要な情報を一つにまとめおき、いざというとき到着した救急隊に伝える事が大切です。

あとは、119番通報の際に、患者の状況がいつから・どういう状況なのかを冷静に伝えるようにしましょう。

“あんしん情報セット”をご存知ですか？

“安心情報セット”とは自宅でも倒れて救急車を要請する際などに、保険証やその家に住む人の病気や薬などの情報を専用のケースにまとめておくためのものです。到着した救急隊などが確認して医療機関へ届けることで、確実に患者の情報を伝える事ができます。

各区のまちづくり推進課にて配布していますので、興味のある方はお問合せください。



豊寿園体験レポート

ご利用者様の日常を紹介するコーナーです。
今回は特養棟の一日をご紹介します。



21時 18時 17:30 16時 15時 12時 10時 9時 8時 7:45 6時

消灯	くつろぎタイム	歯磨き	夕食	くつろぎタイム	おやつ	レクリエーション Or 入浴	歯磨き	昼食	整容	ラジオ体操	歯磨き	朝食	起床
----	---------	-----	----	---------	-----	-------------------	-----	----	----	-------	-----	----	----



就寝前のくつろぎの一時



お昼のレクリエーション

お一人おひとりに
あった生活を

朝、6時頃から起床していただき、朝食の準備を始めます。ご利用者様も夜勤職員も暇の重い時間です。

朝食をとった後は、ラジオ体操で毎日の活力を得ます。身だしなみを整えるのにも余念がありません。

昼食をとったあとは、各階にてレクリエーションを楽しんでいただくか、曜日によってはお風呂に入っていただきます。午後の楽しい時間の始まりです。

おやつを挟んでのんびりとしていると少し家に帰りたくなる方もちらほらと。

夕食をとっていただき、あたりが暗くなったのを見て、床に入る準備を始めます。

夕食後はTVを見るなど自由に過ごされた後、ベッドへと入っていかれます。今日一日の楽しかったことや心配ごとを思い出しながら、皆さんの豊寿園の夜はふけて行きます。

もちろん、お一人おひとりの身体や心の状況によって過ごし方は様々です。一緒なのは、どの方にも、職員がその傍らでお手伝いをさせていたでていることです。



日本赤十字社

We are volunteer

赤十字活動を支えるボランティアさんを紹介するコーナーです。



市区職員との活動風景



じゆんの会の活動風景
(行事協力)

赤十字の活動を支援しているのは多くのボランティアの皆様です。地域ごとに結成された「地域赤十字奉仕団」、救急法や水上安全法、介護、無線などの特殊能力を活かして社会に貢献する「特殊赤十字奉仕団」、青年や学生が若いうちに社会に役立てようと結成された「青年赤十字奉仕団」がそれぞれの特徴のある活動を行っています。

またその他にも地域で活躍されている多くのボランティア団体のご協力をいただいています。

このコーナーでは赤十字の事業や当園において職員と共同でご利用者様の生活のお手伝いをしているボランティアさんについてご紹介していきます。

「その笑顔に会いたくて・・・」



なごみの活動風景



一期会の活動風景
(行事協力)

さんが活躍しています

平成22年度ボランティア延べ人数実績

門司区福祉 ボランティア一期会	379	道の会	31
北九州赤十字看護 奉仕団じゆんの会	157	傾聴ボランティア	67
福岡県特殊奉仕団 いやしのケアなごみ	81	門司区AVEの会	30
北九州華冠グループ	32	個人	37
		その他	40

延べ人数は平成22年度には年間ボランティアさんの受け入れを行いました。

豊寿園ブログ村

豊寿園に勤務する職員が私生活で感じたことなどを徒然と書き込む豊寿園ブログ村。

今回の担当はこの度職場結婚をされた介護長の荒木敬一郎さんです。

豊寿園の職員が書いたブログはホームページ上で公開しています。

<http://nissekihoujuen.jp>



『新婚旅行は南国』と、子供の頃から憧れを抱き、この度ようやく夢を実現して参りました。

憧れのハワイ航路ならぬプーケット。澄み渡る海、輝かしい空、灼熱を感じさせない乾いた風... プーケットはタイ国の南部に位置し、時差が2時間しかなく常夏の楽園ではありますが、12月～3月にかけては乾季となるため、とりわけ2月のハネムーンにぴったりの場所でした。

後ろ髪を引かれ帰国すると、福岡国際空港は雪景色... 気温差30℃を肌身で感じ、即座に夢から覚めた思いでした。

地域ぶらり情報

若松屋さんに行ってきました

豊寿園に勤務する職員がお勧めの地域情報を紹介するコーナーです。

今回は介護長兼生活相談員の荒木美奈さんお勧めのグルメスポットです。

お天気の日にはブラ～っと出かけたくなる今日この頃。でも、ブラ～っと歩くと小腹もすいちゃう。そんな時にオススメのお店を紹介します。

和布刈神社の直ぐ近く、下関との入道の入り口にある**若松屋**さんの「おでん」です。

だしは、ちょっと甘めでからしをつけるとかなり大人の味に大変身。小腹を満たすつもりが、あまりのおいしさについつい満腹に。

お店でも食べれますが、持ち帰って海を見ながら食べるのもサイコーです。



メニューは他に鍋焼きうどんやおでん定食などなど。おでん弁当当??なるものもあります!



若松屋
北九州市門司区大字門司3492
Tel 093-332-2039
関門海峡めかりから徒歩約9分
水曜定休

○編集後記(editorial note)

春は出会いと別れの季節ですが、予期せぬ災害によってもたらせるそれは、悲しみばかりが募ります。

3月に東北・関東地方を襲った震災で被災された方々には心からお見舞いを申し上げます。

私たちは、赤十字の職員として、そして一人の日本人として日々今出来ることに取り組んでいきたいと思いません。

さて、「豊かな樹」新年度号では先日ご協力いただきました読者アンケートの結果を踏まえ、様々な変更を行いました。

赤十字施設としての情報発信や、豊寿園の今をお伝えするという目標のため、今年度も広報委員を中心に良い誌面作りに取り組むと思います。ご意見などございましたらお気軽にお声かけください。よろしくお願いいたします。

平成23年度広報委員 生活相談係 森英樹

○次号予告 (Next issue notice)

- ・次号は7月15日発行予定です。
- ・“華麗なる川柳への道”のお題は「夏休み」です。どしどしご応募ください。

○お知らせ (information)

【職員の異動】

- 事務課長 坂田雅希 ⇒ 北九州血液センターへ
- 福岡赤十字病院より ⇒ 事務課長 廣瀬智昭



日本赤十字社では日頃から災害発生時を想定した訓練を行い、有事に備えています。二月二三日・二四日にも春日市において県内で震度6強の地震が発生した想定での訓練を行いました。

北九州市内の赤十字奉仕団では地震発生直後から義援金の募金活動が行われ、門司区内においては三月十五日大里柳町商店街において行われ、多くの義援金が集まりました。

私達豊寿園からも、救護要員として三月二十日から二十五日までの間で坂根介護長が宮城県の石巻赤十字病院に日赤本社救護要員の一人として出勤しました。

いまだ、被災地ではガソリンなどの燃料や、食料品などは不足している状況であり、電気・水道が復旧していないところもあります。

日本以外の各国からも多くの支援が寄せられるなど、世界中の人々が被災地を案じています。

いま、私達ひとりひとりに何ができるか考えてみませんか？

いま、何ができるか考えてみませんか？

報道されなくなっても被災地に関心を向けて



坂根介護長が見た風景(本人撮影)

三月二十日に東京の日赤本社から宮城県までチャーターバスで移動し、それから二五日まで石巻赤十字病院にて患者の受付や対応を行いました。

院内では知人と出会えて抱き合う人、死亡が判明して泣いている人：様々な方と遭遇しました。

中でも、私の子供と同じくらい歳の女の子が泥まみれで親の後をついて歩いてのを見た時にはやりきれない思いでした。

はじめて被災地の状況を目の当たりにした時には、何度もTV等で見た光景なのに、目の前の現実には正直足が震えました。

大変な状況の中、病院にこられた方から「兄ちゃんに声をかけられると元気になるね。」私も生まれ変わったら赤十字の職員になるよ」と温かい声をかけていただき、こちらが元気を分けていただいた気分でした。

被災地では不安定な状況の中でも必死に困難に向き合っている方々が大勢いらつやいます。日々のニュースで報道されない部分も多くあります。今も続く被災者の現状に今後も関心を向けていただきたいと思えます。

介護長 坂根 琢也

日本赤十字社では被災地へ皆様の善意を届けるべく義援金を受け付けております。

義援金は豊寿園事務所窓口でも受付可能です。

○金融機関：ゆうちょ銀行

○口座番号：001401081507

○加入者名：日本赤十字社東日本大震災義援金

○取扱期間：平成三年九月三十日金

*郵便局窓口での取り扱いは、振込手数料は免除されます。



未曾有の被害 いまだ続く不安定な状況

東日本大震災

いま、救わなければ。

日本赤十字社での活動状況はホームページでご覧いただけます。また、安否確認サイトも運営しています。

○日本赤十字社ホームページアドレス

<http://www.jrc.or.jp>

○安否確認サイト

Family Links(ファミリー・リンク)

<http://www.icrc.org/familylinks>

日本赤十字社は3月11日午後2時46分に発生した地震に対し、即座に災害対策本部を本社に設置し、被災地にある日赤宮城県支部等に職員を派遣しました。

日本中の各支部・施設からも救護班等を続々と被災地へ派遣しており、福岡県内からも支部・施設・病院職員を派遣し、行政や自衛隊、医療機関との連携の下被災された方の支援を行っています。

震災から約1ヶ月が経過した今でも、震災の爪痕は各地に残されており、いまだ復旧の目処は立たない中、不安な日々を過ごす方々が多くいます。

FRUIT FULL TREE



豊かな樹 ・ 豊寿園